

西脇市消費生活センター

No.163 22-3111 (防災安全課内)
高齢者のトラブル事例

「健康」「お金」「孤独」が、高齢者の3大不安といわれています。悪徳業者はそれらの不安に目を付け、高齢者の年金や貯金を狙っています。トラブル事例や手口を知って、トラブルを事前に回避しましょう。

- ◆トラブル事例
- ◇架空請求 はがきやメールで身に覚えのない請求が来た。
- ◇訪問買取 靴などの不用品を買い取ると言って、実際は貴金属を要求された。
- ◇定期購入 1回だけのお試しのつもりが、4回購入が条件の契約だった。
- ◇ワンクリック詐欺 サイトで突然「会員登録完了」の画面となり、高額請求された。
- ◇催眠商法 集会所などで無料の商品をもらい、最後に高額な商品を契約させられた。
- ◇詐欺的金融投資の勧誘 「あなたは選ばれた」などと言われ、金融投資を勧められた。
- ◆対処法
- ◇不審と感じたらきっぱり断る。
- ◇不安なときは、契約前に身近な人に相談する。
- ◇よく分からない契約は結ばない。

* * *
お困りのことがあるときは、消費生活センターに相談しましょう。

あぐりコラム ①

西脇市では黒田庄和牛や山田錦、イチゴなど全国に誇れる地域食材が生産されており、さまざまな農業振興施策を推進しています。このコラムでは、本市の農業に関する旬な情報をお伝えします。

■問合せ 農林振興課(市役所内線322)



栽培講習会時に出荷者間の意見交換を実施

直売所向け一押し野菜の栽培に取り組んでいます

農産物直売所「北はりま旬菜館」では、スーパーマーケットに並ぶ野菜との差別化や品ぞろえの充実を目指して、種苗メーカーを講師に迎え、定期的に野菜の栽培講習会を開催しています。このような取り組みの積み重ねによって、サツマイモや小玉スイカ、子持ち高菜など評判の良かった野菜を、北はりま旬菜館の推奨野菜として売り出しています。

今年はお荷者の皆さんとともに、果物が出回りにくい端境期に収穫できるメロンの栽培に挑戦します。栽培管理が簡単で糖度の高い品種を選んでおり、メロンは6月下旬から7月にかけて、北はりま旬菜館の店頭並びます。ぜひご賞味ください。

また、出荷者らでつくる北はりま農産物直売所出荷者協議会内に育苗・栽培促進部会を設置し、出荷者の皆さんが自ら推奨野菜の苗を育てています。今後は野菜苗以外にも収益性の高い花や観葉植物を育苗するなど、より魅力ある直売所づくりに取り組んでいきます。



市長からの手紙

63

西脇市長 片山象三

不断の努力が実を結ぶ

西脇小学校6年生の子どもたちが、自分たちでデザインした「西小タータン」のランチョンマットを持って、市長室を訪ねてくれました。子どもたちが地場産業について学びながら、モノづくりをすることは、とても貴重な経験になったのではないのでしょうか。西脇市には播州織以外にも、釣り針や黒田庄和牛、山田錦、播州ラーメンなど、魅力あふれる地域資源がたくさんあります。子どもたちが「ふるさと・西脇市」に、もっと興味を持って学んでくれるよう、今後とも取り組んでいきます。さて、先日うれしいことが



西小タータンのランチョンマットを作った児童たち

ありました。多くの播州織関係者の皆さんが協力して「世界初の残糸備蓄システム」が完成しました。これは、従来廃棄していた「染色された残糸」にICタグを付け、糸の太さや色などの情報を入力して管理するシステムです。またICタグを糸に付ける技術は、「釣り針」を利用した特許技術です。これによって、産地全体で廃棄されていた糸を再利用することができるようになり、私が目指す環境にやさしい循環型社会に一步近づきます。また、試織(サンプル作成)に要するコスト低減や納期短縮が可能となり、商談機会や販路の拡大にもつながるものと期待しています。産地全体で協力して残糸を再利用するシステムは、他の地域では例を見ないものです。4月は新年度の始まりです。新しいことにどんどん挑戦して、誇りの持てる西脇を皆さんで創っていきましょう。

好きです!! にしわきわたしのふるさと

心紡いで 彩り豊かな人財の育成

～誰もがふるさとに誇りと愛着を持ち、輝いて生きる 共生社会の実現に向けて～

教育委員会や学校園の情報をお知らせします。

姉妹都市・レントン市で異文化交流を体験

西脇市中学生親善使節団員を募集します

西脇市・市教育委員会・市国際親善交流協会では、姉妹都市アメリカ合衆国ワシントン州レントン市へ派遣する「中学生親善使節団員」を募集しています。相互のホームステイを通じて、文化や生活様式、考え方の違いなどを理解し、自分自身の視野を広げるチャンスです。

昭和44年に西脇市とレントン市が姉妹都市提携を結んで今年で節目の50年目を迎えます。レントン市とはこの間、中学生親善使節団や市民使節団を相互に派遣するなど、交流を深めてきました。

- ◆募集人数 14名(予定)
- ◆費用 個人負担8万円。その他の公的費用は、市が負担します。
- ◆応募資格 市内在住の中学3年生(市内在住で市外学校に通学している生徒も応募可)
- ◆応募方法 所定の申込書と志望動機書(目的や希望理由を指定原稿用紙両面1枚にまとめたもの)を学校教育課へ提出してください(郵送可)。書式は市ホームページからダウンロードできます。
- ◆応募締切 4月23日(火) 必着
- ◆応募・問合せ 学校教育課(市役所内線527)
- ◆派遣期間 8月18日(日)～27日(火) 28日(水) 帰国予定

心のスケッチ

121

人権教育課コラム

これからの時代の「学び方」～新学期を迎えて～

満開の桜の下、色とりどりの大きなランドセルを背負い、歩いて登校する小学1年生。子どもたちはそれぞれの夢や希望を胸に、元気に学校生活をスタートさせることと思います。ある研修会で、これからの教育について、次のような話を聞きました。

『多様化の時代に、子どもたちに特に身に付けてほしい力には次の2つがあります。それは「コミュニケーション力」と「人間関係を築く力」です。そのため、学校では自分の考えをしっかりと持ち、周囲とより良い人間関係を築くため、さまざまな体験を取り入れた教育活動を展開しています。』

普段の学校生活で、子どもたちに意識してほしいことが4つあります。

- ・人の話をしっかりと聞くこと。(Listen)
- ・心を開いて思いを受け止めること。(Open)
- ・声に出して自分の思いを伝えること。(Voice)
- ・どんな活動でも楽しむこと。(Enjoy)

研修会を終えた後も、呪文のように、4つの英単語が頭の中をぐるぐる回っています。やや強引に結び付けられた話だ、という印象はありますが、妙に納得している自分に気付きました。

昔、祖父から「好きこそ、物の上手なれ」と聞いたことが頭に浮かびました。改めて、興味や関心を持ち、自ら学んでいくことの大切さを認識しました。学ぶことを「好き」になって、楽しく元気に有意義な学校生活を送ってほしいと願っています。(人権教育課)